

報道機関各位

沖縄県立博物館・美術館 管理事務所

第2回木村伊兵衛写真賞を受賞した作品を含む約250点を展示

復帰50年

平良孝七展

沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）は、11月3日（木・祝）から美術館企画展「復帰50年 平良孝七展」を開催します。

平良孝七（1939-1994）は、沖縄県大宜味村生まれの写真家です。1970年、「復帰」に揺れる沖縄を写した『写真集 沖縄 百万県民の苦悩と抵抗』を発表します。そして、1976年、島々で生活する人々とその風景を撮影した写真集『パイヌカジ』で第2回木村伊兵衛写真賞を受賞します。平良はその後も沖縄に根ざす生活者の「記録」を様々なテーマで撮り続けました。

沖縄の、日本への「復帰」を見つめ、激動の時代にありながら変わりゆく沖縄の「実情」をとらえた平良の写真は、いまでも強度を持って観る者に問いかけます。本展は残された写真約250点から、激動の時代を生きた人々、そして同時代を追い続けた平良の足跡を振り返ります。

平良 孝七（たいら・こうしち）略歴

- 1939年 沖縄県大宜味村喜如嘉に生まれる
- 1959年 辺土名高校を卒業後、上京
- 1962年 琉球新報写真部に勤務
- 1970年 琉球政府（現・沖縄県庁）広報課に勤務
- 1977年 写真集『パイヌカジ』で第2回木村伊兵衛写真賞を受賞
- 1993年 約20万点にのぼる写真資料を名護市に寄贈
- 1994年 1月死去



〈沖縄：百万県民の苦悩と抵抗〉より（名護博物館蔵）



〈パイヌカジ〉より《71.9 石垣島》（名護博物館蔵）



〈塩屋ウンガミ〉より《塩屋ウンガミ 06》（名護博物館蔵）



〈パインカジ〉より《72.8 小浜島》
 (名護博物館蔵)



〈沖縄カンカラ三線〉より
 《76 年私の母 大宜味村喜
 如嘉》(名護博物館蔵)



〈女子学徒隊〉より《世嘉良(旧
 姓 喜舎場)利子 沖縄県立師範学
 校女子部本科二年(当時)球一
 八八〇三部隊(俗称 ひめゆり学徒
 第一外科配属)》(名護博物館蔵)



〈復帰の日〉より《琉球政府閉庁式
 (1972 年 5 月 13 日)》(名護博物館蔵)



〈生まりジマ喜如嘉〉より《生まりジマ喜
 如嘉 11》(名護博物館蔵)

〈概要〉

展覧会名：美術館企画展「復帰50年 平良孝七展」

会 期：2022年11月3日(木・祝)～2023年1月15日(日)

主 催：沖縄県立博物館・美術館

特別協力：名護博物館

場 所：沖縄県立博物館・美術館 企画ギャラリー1・2

観 覧 料：一般1200円／高大生500円／小・中学生300円

※ 障がい者手帳をお持ちの方および介助者1名は当日料金の半額

開館時間：9：00～18：00(金・土は20：00) ※ 最終入場は閉館の30分前まで

休 館 日：毎週月曜日、年末年始(12/29～1/3)、1/10(火) ※1/9(月)は開館

※ 広報用画像をご希望の方は ms-kinjo@okichura.jp へご連絡下さい。

〈お問い合わせ先〉

沖縄県立博物館・美術館指定管理者 (一財) 沖縄美ら島財団

企画班 金城正仁・川島祥子 TEL 098-941-1232/FAX 098-941-2392